

競技・審判上の注意事項

1. この大会は、(公財)日本バドミントン協会競技規則・同大会運営規程・同公認審判員規程によって行います。
2. インターバル中のアドバイスは、両サイドともコートには同時に2名までが入ることが可能です。
3. マッチ中の水分補給、汗ふきなどは、必ず主審の許可を得てください。
4. タオル、ラケット、水分補給用のボトル等は直接床に置かず、コートサイドにバッグを持ち込んで保管してください。なお、クーラーボックスのフロアへの持ち込みは禁止します。
5. 競技中のウェアの背面には、学校名・県名を表示してください。
6. 体力や息切れの回復、アドバイスを受けるため等の遅延に関する違反行為に対しては、厳正に対処します。特に、足が痙攣した場合は、怪我ではなく力不足とみなされます。選手は、すぐに構えてプレーを継続するか、棄権するか、どちらかにしてください。
7. 応援については、プレーの妨げや周囲の観客への迷惑などの理由により、うちわ、メガホンなどを使用すること、歌や長く手を叩くこと、観客席で立ち上がることは禁止します。
また、ゲーム中の応援は、インプレー終了からサーバーまたはレシーバーが次のプレーの構えをとるまでの間とし、マッチ前やインターバル中の応援は、10秒程度の長さで一度までとします。
8. 競技区域内では、携帯電話、パソコンなどの電子機器やカメラの使用を禁止します。

◆個人対抗の注意事項

1. 全日程、第1種検定合格水鳥球を対戦者同士で持ち寄って試合を行います。シャトル番号は4番とします。(気温の上昇によっては、3番を指定する場合があります。)
2. 試合前に予備コールを行います。呼ばれた選手は、選手集合所で受付を行ってください。その際、線審1名と一緒に来てください。(線審・得点係は対戦校同士で行います。)
3. 勝山市体育館ジオアリーナの会場において、大会1日目及び2日目については、ダブルス・シングルスともに、トーナメント表を2つに分けてコートを指定し、試合を行います。選手集合所も2か所に分かります。
4. 試合が連続する場合の休憩は、15分とします。(3日目及び4日目は20分とします。)
5. 進行状況に応じて、試合の順番を変更する場合があります。
6. 敗者主審制とします。敗者は、審判用紙のかごを持って本部まで来てください。その後、当該コートの主審を行ってもらいます。
7. 各コートの1巡目の主審は、本部より割り当てます。
8. 試合中、競技フロアへ降りることができる生徒は、コーチングシートに入る者のみです。
9. 大会3日目及び4日目に出場する学校は、単1名、複1組につき、それぞれ2名の生徒補助員を連れて来てください。

会場使用上の注意事項

1. 試合会場で使用する運動靴は、競技用と屋外用を区別してください。
2. 飲食物、ゴミなどの後始末、貴重品の管理は、選手各自の責任で行ってください。特に、ゴミはすべて持ち帰るようにしてください。
3. 飲食については、観客席で行ってください。
4. 観客席の最前列は、応援席としますので、荷物を置かないようにしてください。
5. 手すりに寄りかかっただけの応援は、たいへん危険なのでやめてください。
6. 館内でのストロボを用いた写真や動画の撮影はしないでください。
7. 写真や動画の撮影は、個人利用を目的としたものに限りです。また、撮影した写真や動画を無断でSNS等へアップロードする行為は控えてください。
8. 撮影業者（カメラマン）を含め、競技フロアでの写真や動画の撮影を禁止します。
9. 大会関係者（大会役員・引率者・保護者・観戦者）の駐車場は、第2駐車場を使用してください。
特に、大野市エキサイト広場総合体育施設は駐車スペースに余裕がないため、自家用車を使用する場合には、乗り合いで来場するようにしてください。また、男子チーム・女子チーム合同で借上バスを利用する場合には、勝山市体育館ジオアリーナに駐車するようにしてください。